

FUJITEC

第64期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



東北一の高さを誇る“仙台トラストタワー”には、エレベータとエスカレータ計41台が活躍しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。第64期第2四半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の連結業績の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、総じて緩やかな回復傾向をたどりましたが、中国や米国で景気の減速基調が強まるなど、先行きの不透明感が高まりました。日本経済も、緩やかな回復が続きましたが、急速な円高の進行や世界経済の減速などにより、輸出・生産の減速が鮮明となり、景気回復の速度が鈍化しました。昇降機業界におきましては、中国市場で堅調な需要が継続した一方で、日本、北米、欧州の各市場では、建設市場が低迷する中、厳しい環境が続きました。

このような情勢の下、当社の国内市場における新設事業では、主力商品の積極的な拡販に努めましたが、不動産市況の低迷が続き、新設工事の受注が減少しました。また、既設のエレベータ・エスカレータを最新のシステムやデザインに刷新を図るモダンゼーション事業では、商品メニューを一層拡充することで、順調に受注を伸ばしています。これにより、国内受注高は、239億57百万円（前年同期比4.8%増）となりました。一方、世界市場では、南アジアで減少したものの、中国での増加により、海外受注高は267億95百万円（同5.2%増）となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は507億52百万円（同5.0%増）となりました。

売上高は、国内売上高230億92百万円（同6.7%増）、海外売上高264億92百万円（同3.4%減）となり、495億85百万円（同1.1%増）となりました。

損益面では、日本での大幅な改善により、営業利益は前年同期比16億49百万円増の22億84百万円、経常利益は同13億24百万円増の23億34百万円となりました。

特別損益の純額は、米国連結子会社における貸倒損失の計上などで、4億50百万円の損失となりました。税金費用が前年同期比1億37百万円減少した結果、四半期純利益は、前年同期比10億59百万円増加し、11億35百万円となりました。当期の中間配当金につきましては、当期の業績を踏まえ、1株当たり5円とさせていただきます。



今後も世界経済は、緩やかな回復基調が続くものの、景気の本格的な回復には時間を要するものと見られます。昇降機市場においては、主要先進国の内需の停滞により、限られた成長市場での競争がますます激化し、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況で推移するものと思われれます。

当社では、2010年度から新中期経営計画“One Goal, One Fujitec”をスタートさせ、全グループが一丸となって、グローバル市場でのプレゼンスを一層高め、企業価値の向上、収益の拡大に全力を挙げております。そのために、アジアを核とする販売・生産体制の拡充、成熟市場でのモダニゼーション事業の強化、さらに専業メーカーとして世界に先駆けた新商品の開発をこれからも推進してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月

代表取締役社長 内山 高一

主な活動概況

日本 *Japan*

宮城県仙台市では、東北一の高さを誇る“仙台トラストタワー”が完成しました。オフィス、商業施設、外資系都市型ホテル「ウェスティンホテル仙台」などから構成された同ビルには、高速機種を含むエレベータ37台、エスカレータ4台が活躍しています。

東京では、今年10月にオープンした“羽田空港国際線ターミナルビル”にエレベータ21台を納入したのを始め、大阪では、世界的建築家・安藤忠雄氏の設計によるホテル・住宅・商業施設の複合施設“CHASKA茶屋町”に、エレベータ11台が納められています。

一方、東京では2013年完成予定の“帝京平成大学中野キャンパス”向けにエレベータとエスカレータ計16台、都内で2番目の高さとなる環状第二号線の再開発計画“森ビル環状第二号線”向けに、エレベータとエスカレータ計32台をそれぞれ受注しています。

このほか、最新のシステムにリニューアルするため、大阪の“北大阪流通倉庫”のエレベータ30台向けにモダニゼーション工事を一括受注したほか、全国各地でモダニゼーション工事の受注、完成が相次いでいます。



仙台トラストタワー(宮城)

■ 北南米 *North & South America*

米国では、コロラド州・デンバーにおいて、ホテルと高級住宅から成る複合ビル“フォーシーズンズ・プライベート・レジデンス・デンバー”に、高速機種を含むエレベータ9台が活躍しています。また、ニュージャージー州ではNFLのニューヨーク・ジャイアンツとニューヨーク・ジェッツのホームスタジアムとなる“ニュー・メドランズ・スタジアム”には、エレベータとエスカレータ計59台を納めています。



フォーシーズンズ・プライベート・レジデンス・デンバー(米国)



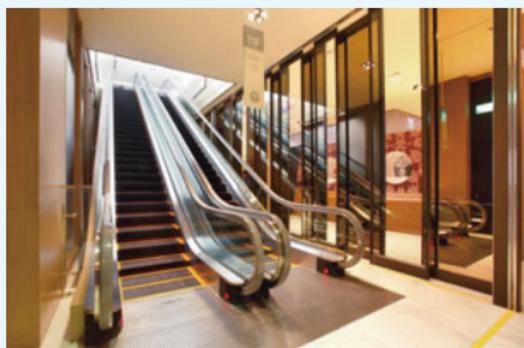
エル・タワー(カナダ)

カナダでは、トロントの中心に建設される地上61階建の高級コンドミニアム“エル・タワー”向けに、高速機種を含むエレベータ12台を受注しました。

このほか、アルゼンチンの首都・ブエノスアイレスでは、地上30階建のオフィスビルが大規模改修工事を行うことになり、エレベータ9台のモダニゼーション工事を受注しています。

■ 東アジア *East Asia*

台湾では、高雄市の左営駅に近接する商業施設“新光三越デパート左営店”がオープンし、エレベータ・エスカレータ・動く歩道計61台が活躍しているほか、台湾各地にある「新光三越」向けにも数多くの商品を納入しています。



新光三越デパート左営店(台湾)

香港では、セントラル・ビジネス地区の中心街において、最先端ビル“クイーンズ・ロード・コマースナル・デベロップメント”向けに、超高速機種を含むエレベータとエスカレータ計7台を受注しています。

また、韓国・ソウルにある金浦国際空港に隣接して、約15万㎡の敷地面積を有する大型複合商業施設“スカイ・パーク”が建設中です。ホテル・デパート・ショッピングセンター・映画館などから成る同施設向けに、ハイライズ機種を含む、エスカレータ64台を受注しました。

このほか、中国では、江西省・新余市の大規模住宅プロジェクト“新余融匯江山御景”向けにエレベータ102台、四川省・綿陽市の大規模住宅プロジェクト向けにも、エレ



スカイ・パーク(韓国)

ベータ117台を大量受注するなど、中国各地において大型プロジェクトを数多く受注しています。

■ 南アジア *South Asia*

シンガポールでは、セントーサ島に建つ一大リゾート施設“リゾート・ワールド・セントーサ”が完成。アジアでは、日本に続き2番目となるユニバーサル・スタジオや、6つのホテル、カジノなどから成る同施設には、エレベータとエスカレータ計181台が活躍しています。



リゾートワールド・セントーサ
(シンガポール)

マレーシアでは、首都クアラルンプール近郊に地上40階、地下6階建の2棟から成る高級コンドミニウム“モント・キアラ28”向けに、高速機種を含むエレベータ21台が納められます。

また、成長著しいインドにおいて、南部のIT企業が集積する工業都市・バンガロールの“マリオット・ホテル&マグナ・モール”向けにエレベータ・エスカレータ・動く歩道計22台、チェ

ンナイに建設中の一流ホテル“パーク・ハイアット”向けに、高級エレベータ8台を受注しています。



マリオット・ホテル&マグナ・モール(インド)

■ 欧州・中東 *Europe & Middle East*

アラブ首長国連邦で3番目に大きい首長国・シャルジャの中心地において、地上56階、地下4階建のオフィスとホテルから成る超高層複合ビル“シャルジャ・ファイナンシャル・センター”が建設されており、ここに超高速機種を含むエレベータ28台が納められます。

エレベータの乗場では、最新の「行先予約案内システム」が導入され、最適な群管理機能を発揮するものと、大いに注目を集めています。



シャルジャ・ファイナンシャル・センター(UAE)

新世代エレベータ群管理システム 世界同時発売！

高層ビル、大型施設、タワーマンションなどにおいて、建物内の複雑な交通需要に応え、何台も設置されたエレベータを迅速に、かつ効率的に運行制御できる画期的な群管理システムを開発し、今年10月から世界で同時発売しました。



「行先予約案内システム」を導入したエレベータホールのイメージ図

仮想乗客最適化方式

将来発生する乗客を含めて、ビル全体の交通需要を予測し、エレベータの運行を制御するものです。

急増するタワーマンションなどにおいて、平均待ち時間を最大10%（当社従来比）短縮できます。

行先予約案内システム

あらかじめ行先階を事前に登録し、最適なエレベータを選択することで、輸送効率を格段に向上させるものです。

利用者は、ロビー階のエレベータホール手前（またはエレベータホール内）に設置された「行先階登録装置」で目的階を登録すると、割り当て号機が案内され、各エレベータの乗場ドア上方に設置された「行先階インジケータ」に表示されます。

オフィスビルでの出勤時の混雑を緩和し、サービス完了時間を最大30%（当社従来比）短縮できるなど、新世代のエレベータ群管理システムとして、大きな注目を集めています。

環境保全や、緑化、安全活動において、多彩なCSRの取り組みを展開！

フジテックでは、地球温暖化や自然環境の維持、さらに“安全・安心”のための啓蒙活動に至るまで、多彩な社会貢献活動を積極的に展開しています。

地球温暖化対策において、今年6月、環境省の「CO₂削減ライトダウンキャンペーン」に参加し、各事業拠点のネオンサインの消灯を行い、約900kgのCO₂を削減しました。

自然環境の維持については、今年8月、エスカレータ開発・生産拠点“ビッグステップ”のある兵庫県豊岡市に対し、同市がコウノトリの野生復帰事業を進める「コウノトリ基金」に寄付を行いました。

また、エレベータ開発・生産拠点“ビッグウィング”のある滋賀県の緑化推進会に対し、今年9月、森林の整備や公園・街路などの植樹を行うための「緑の募金」に寄付をしました。

さらに、近年、エレベータやエスカレータでの子どもの事故が多発していることから、正しい乗り方を紹介した安全ノート『正しく乗ろう！ エレベータ&エスカレータ』を制作。事業拠点のある小学校や図書館に約10,000部を寄贈しました。

フジテックでは、これからも社会と地域に貢献できますよう、CSRの取り組みを更に推進していきます。



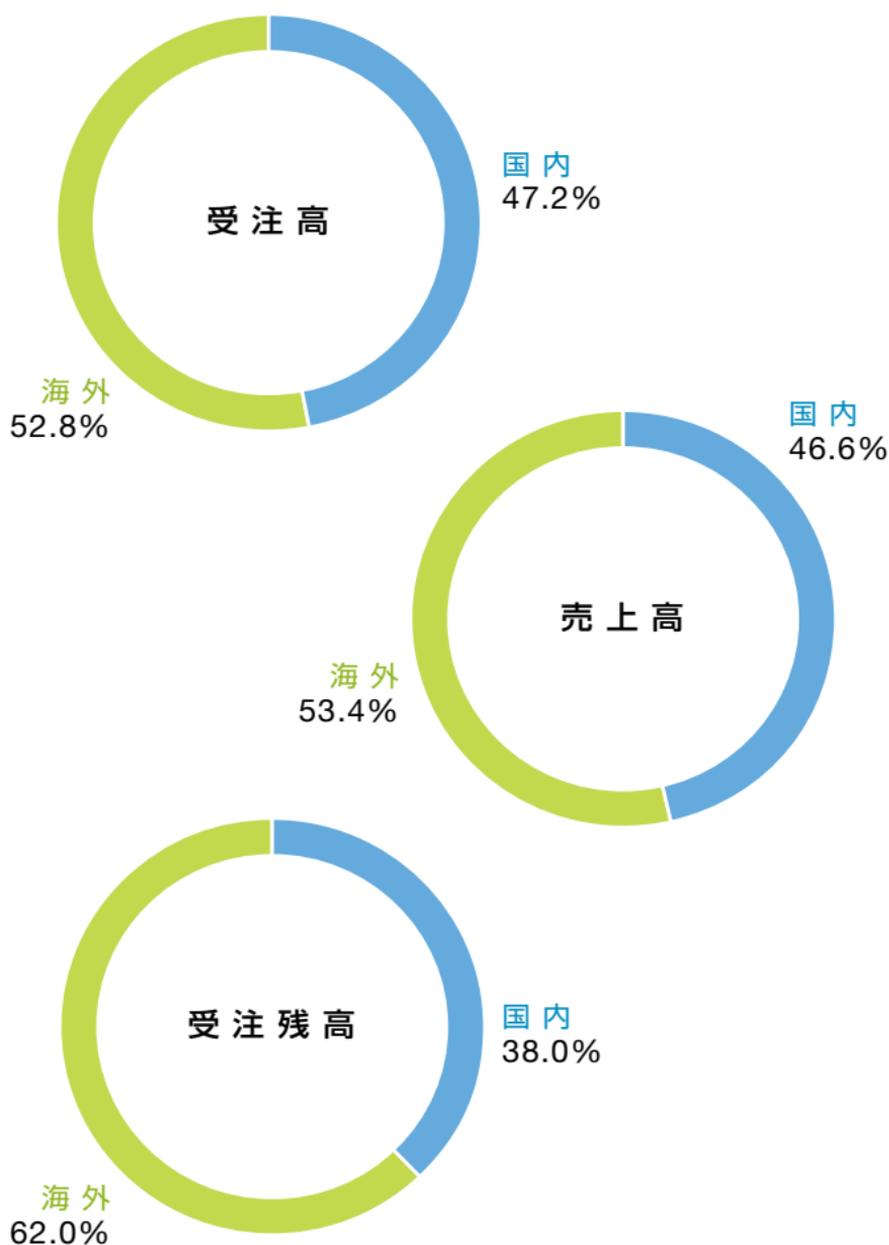
フジテックのマスコット「テキキー」が、エレベータ・エスカレータの仕組みや正しい乗り方を紹介する安全ノート

連結業績の概要 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

営業の状況

			受注高	売上高	受注残高
国内	百万円		23,957	23,092	38,130
海外	百万円		26,795	26,492	62,231
合計	百万円		50,752	49,585	100,361

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



Financial Results

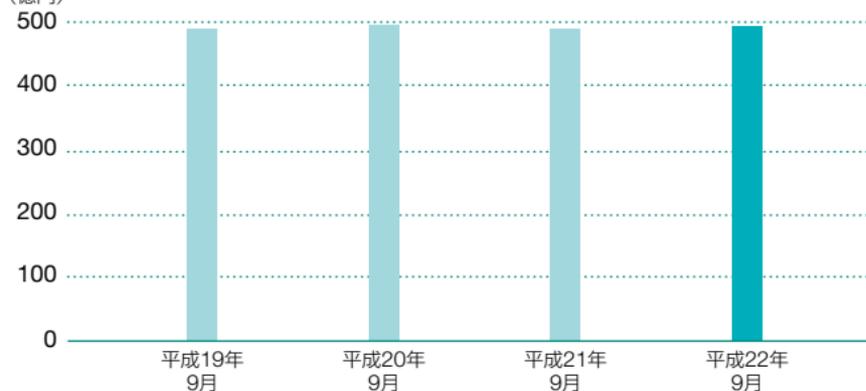
業績の推移

		当第2四半期 平成22年9月	前第2四半期 平成21年9月	前期 平成22年3月
売上高	百万円	49,585	49,068	106,137
営業利益	百万円	2,284	634	5,288
経常利益	百万円	2,334	1,010	6,053
四半期純利益 または当期純利益	百万円	1,135	76	4,061
1株当たり四半期純利益 または当期純利益	円	12.14	0.82	43.40
総資産	百万円	100,299	105,085	111,099
純資産	百万円	62,652	60,777	64,056
1株当たり純資産	円	624.78	606.00	636.25
研究開発費	百万円	713	835	1,882
設備投資	百万円	828	2,637	6,564

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

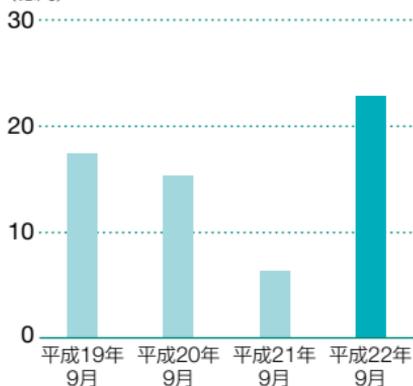
売上高

(億円)



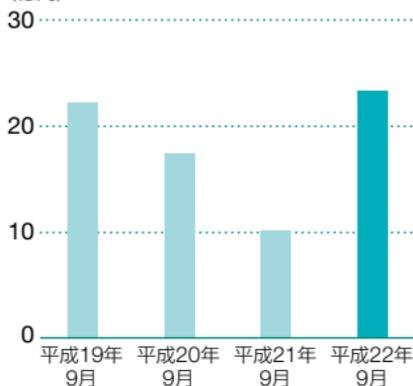
営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



Ⅰ 連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

資産の部		負債の部	
	金額(百万円)		金額(百万円)
流動資産	57,576	流動負債	28,475
現金及び預金	19,273	支払手形及び買掛金	10,384
受取手形及び売掛金	24,874	短期借入金	2,582
商品及び製品	2,210	1年内返済予定の長期借入金	1,013
仕掛品	2,897	未払法人税等	620
原材料及び貯蔵品	5,245	賞与引当金	572
その他	3,537	工事損失引当金	2,631
貸倒引当金	△ 462	その他の引当金	338
		前受金	6,279
		その他	4,052
固定資産	42,722	固定負債	9,170
有形固定資産	30,555	長期借入金	3,601
建物及び構築物	19,295	退職給付引当金	4,574
機械装置及び運搬具	2,231	その他	993
工具、器具及び備品	1,393	負債合計	37,646
土地	6,832		
リース資産	19	純資産の部	金額(百万円)
建設仮勘定	781	株主資本	76,774
無形固定資産	2,998	資本金	12,533
のれん	919	資本剰余金	14,565
その他	2,078	利益剰余金	49,802
		自己株式	△ 127
投資その他の資産	9,169	評価・換算差額等	△ 18,309
投資有価証券	4,925	その他有価証券評価差額金	323
長期貸付金	1,921	繰延ヘッジ損益	3
その他	2,504	為替換算調整勘定	△ 18,636
貸倒引当金	△ 182	少数株主持分	4,187
資産合計	100,299	純資産合計	62,652
		負債・純資産合計	100,299

(注) 1. 当第2四半期の連結子会社は、17社であり、持分法適用会社はありません。
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Financial Results

■ 連結損益計算書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

金額(百万円)

売上高	49,585
売上原価	40,048
販売費及び一般管理費	7,252
営業利益	2,284
営業外収益	444
営業外費用	394
経常利益	2,334
特別利益	572
特別損失	1,022
税金等調整前四半期純利益	1,883
法人税、住民税及び事業税	651
過年度法人税等戻入額	△ 284
法人税等調整額	△ 72
少数株主利益	452
四半期純利益	1,135

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

金額(百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	4,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 828
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 822
現金及び現金同等物の期首残高	7,839
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 1
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,015

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 会社の概況

設立 昭和23年2月9日

資本金 125億3,393万円 (平成22年9月30日現在)

■ フジテック・グループ

日本	本社	滋賀県彦根市 ビッグウイング	TEL(0749)30-7111
	東京本社	東京都港区三田3丁目9-6	TEL(03)4330-8200
北米	アメリカ	FUJITEC AMERICA, INC.	
	カナダ	FUJITEC CANADA, INC.	
	グアム	FUJITEC PACIFIC, INC.	
南米	ベネズエラ	FUJITEC VENEZUELA C.A.	
	アルゼンチン	FUJITEC ARGENTINA S.A.	
	ウルグアイ	FUJITEC URUGUAY	
欧州	ドイツ	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH	
	イギリス	FUJITEC UK LTD.	
中東	サウジアラビア	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.	
	エジプト	FUJITEC EGYPT CO., LTD.	
	アラブ首長国連邦	FUJITEC UAE	
南アジア	シンガポール	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.	
	マレーシア	FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.	
	インドネシア	P.T. FUJITEC INDONESIA	
	インド	FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.	
	フィリピン	FUJITEC, INC.	
	ベトナム	FUJITEC VIETNAM CO., LTD.	
東アジア	ホンコン	FUJITEC (HK) CO., LTD.	
	台湾	富士達股份有限公司	
	コリア	FUJITEC KOREA CO., LTD.	
中国	中国	華昇富士達電梯有限公司	
	中国	上海華昇富士達扶梯有限公司	
	中国	富士達電梯配件(上海)有限公司	
	中国	上海富士達電梯研發有限公司	

役員

取締役

代表取締役社長	内山 高一	取締役	西垣 博志
代表取締役副社長	関口 岩太郎	取締役	花川 泰雄
取締役	野木 正彦	取締役	稲葉 和夫
取締役	北川 由雄		

監査役

常勤監査役	松原 敏之	監査役	佐伯 照道
監査役	中野 正信		

執行役員

執行役員社長	内山 高一 *	執行役員	梶田 順司
執行役員副社長	関口 岩太郎 *	執行役員	山城 啓二
専務執行役員	野木 正彦 *	執行役員	奥田 勝次
専務執行役員	北川 由雄 *	執行役員	井上 治男
常務執行役員	津山 圭二	執行役員	多川 正弘
常務執行役員	岡田 隆夫	執行役員	原田 政佳
常務執行役員	面口 久信	執行役員	内山 泰行
常務執行役員	船見 実生	執行役員	筒井 邦彦

*は兼務しています。

株式の状況

発行済株式の総数	93,767,317株
株主数	3,739名
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所

大株主	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1.	シティグループ グローバル マーケッツ インク ーセキュリティーズ セーフキーピング アカウント418	13,852	14.80
2.	株式会社ウチヤマ・インターナショナル	10,025	10.71
3.	富士電機ホールディングス株式会社	5,089	5.43
4.	クレジット スイス アーゲー チューリッヒ	4,721	5.04
5.	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,502	4.81
6.	株式会社りそな銀行	4,203	4.49
7.	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,127	3.34
8.	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,474	2.64
9.	メロンバンク トリーティー クライアンス オムニバス	2,302	2.46
10.	株式会社みずほコーポレート銀行	1,989	2.12

(注) 持株比率は、平成22年9月30日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己名義株式190,235株を除いた93,577,082株を基準に計算しています。

株式についてのご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当受領 毎年3月31日
株主確定日 なお、中間配当の株主確定日は9月30日

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に
よることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に
掲載することといたします。
ホームページアドレス: <http://www.fujitec.co.jp/koukoku/>

株主名簿 東京都港区芝3丁目33-1
管理人 中央三井信託銀行株式会社

同事務 〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目2-21
取扱場所 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
(電話照会先) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および
全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

単元株式数 1,000株

● 住所変更、単元未満株式の買取りのお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、本年より配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

フジテック株式会社

www.fujitec.com



この印刷物には、環境に配慮した
[大豆油インキ]を使用しています。